



小郡市立三国中学校だより

一心一意

令和7年2月19日

第19号

校長 山本 拓

「最後まで、仲間づくりをあきらめない」～各教室をみて思うこと～

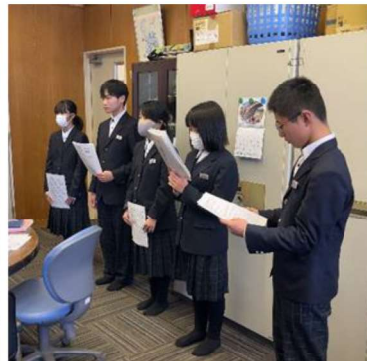


今のクラスでの生活も残りわずかとなりました。「あと〇日」と書かれた手作りの日めくりカレンダーが下がっているクラスもあります。1年間でみなさんのクラスは、どのように変わりましたか？みんなと離れたくないと不安を感じている人や早く今のクラスが終わってほしいと考えている人など気持ちは様々だと思います。

私が、各教室の授業をみてこのごろ感じたことを書きます。あるクラスは、先生からのプリントが配られたらすぐに欠席でない人の机の中に何人かが丁寧にプリントを折りたたんで入れていました。しかし、あるクラスは、1時間目から配られたプリントが欠席している人の机の上に置かれたままです。プリントが机の上にとずっと置かれたままだと、風で飛んでなくなったり、何かのはずみで床に落ちたりします。だから、その場にはいない人のことをちゃんと考えているクラスは、手分けをしてすぐに机の中に入れていっているのでしょうか。そうした、何気ないちょっとしたところが、仲間を大切にしてきたかどうか分かるものです。

最後まで、一人でもあきらめずにつながっていこうとする仲間づくりを続けてほしいと思います。

「学校運営協議会で発表」～ルールメイキング・プロジェクト～



報告した内容

- ・自動販売機の設置に向けて
- ・髪に関するルール
- ・通学用シューズに関するルール
- ・防寒着に関するルール
- ・制服着用に関するルール など

2月13日(木)に三国中校長室で学校運営協議会が行われました。今年度最後の学校運営協議会ということで、1年間の様々な活動の成果と課題を地域やPTAの方々にも説明しました。ルールメイキングプロジェクトからもチームの1年4組 中川真央さん、永淵遥乃さん、3年3組 馬原里奈さん、3年4組佐々木太吾さん、吹田大倭さんがこれまでの校則改善の話し合いの進捗状況を説明しました。

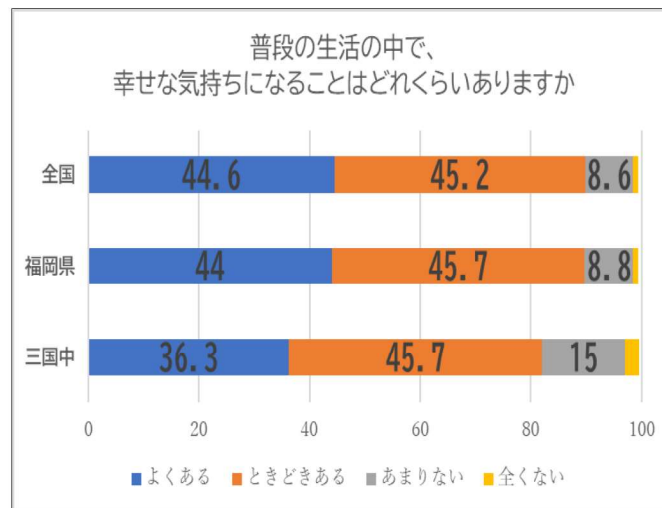
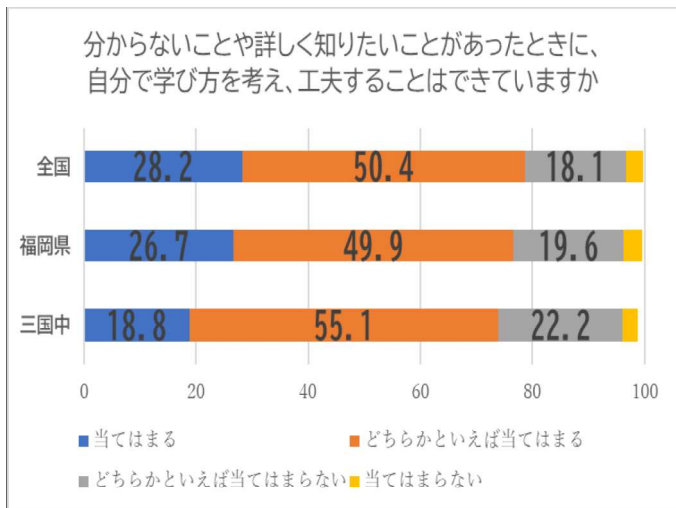
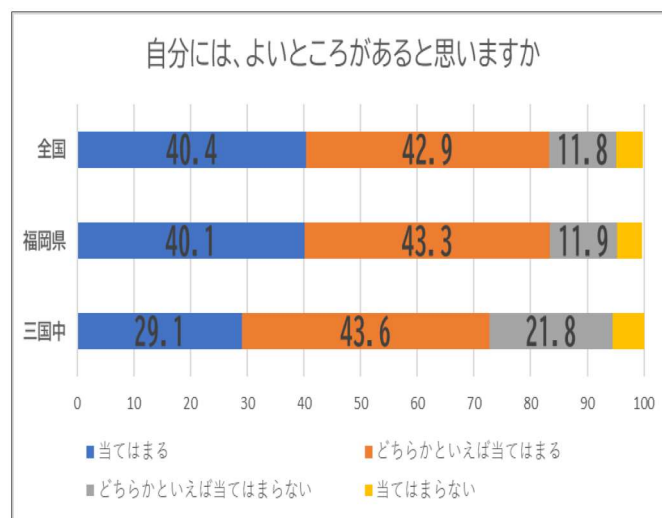
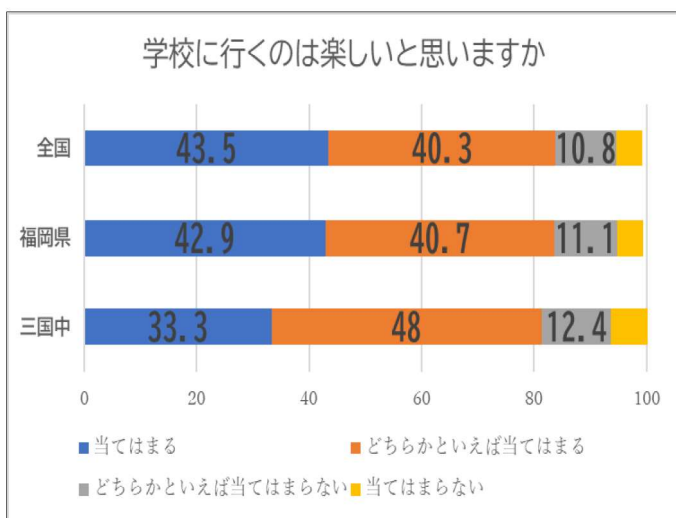
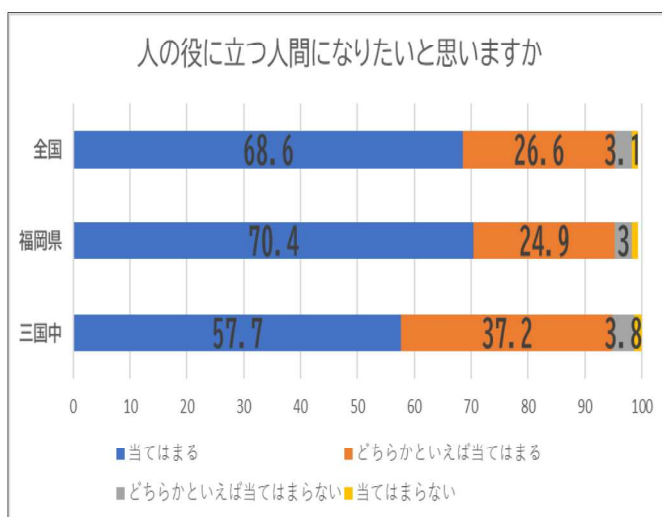
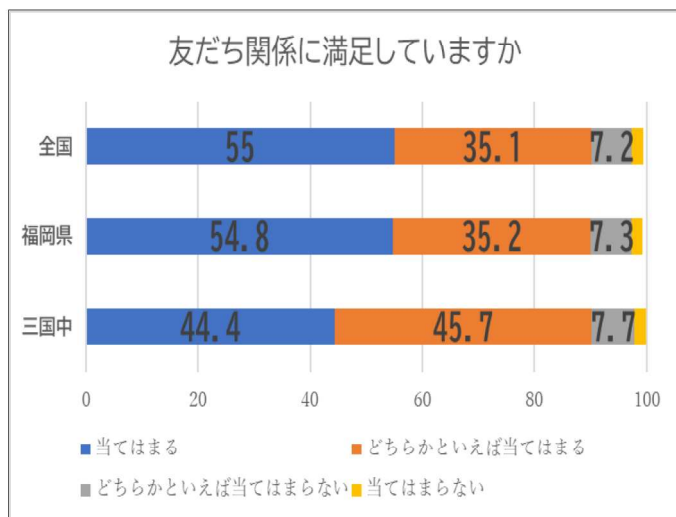
メンバーにたくさんのご質問やご意見をいただき、今後の話し合いの参考になりました。学校運営協議会のみなさんは、学校のことを考え一生懸命に取り組み堂々と発言するメンバー5人にととても感心していました。

校則改善の取組は、少しずつ着実に進められています。あなたも一緒に考えてみませんか？

「三国中の課題」～全国学力・学習状況調査 生徒質問紙から～

昨年4月に行われた全国3年生対象の全国学力・学習状況調査の生徒質問紙結果の一部を紹介します。現在の3年生の4月の意識なので、同じ質問をしたら今は当然違ってくると思いますが、これは学年としての課題ではなく、学校全体の課題ととらえて、毎年分析を行っています。たくさん質問内容の中で「非認知能力」と関係しているのではないかなと思うものを選んでお知らせします。

※非認知能力…テストなどで評価している能力を「認知能力(cognitive skills)」と言います。一方、物事に対する考え方、取り組む姿勢、行動など、日常生活・社会活動において重要な影響を及ぼす能力を「非認知能力(non-cognitive skills)」と言います。非認知能力が高い人は、「何かをやり抜くねばり強さ」「自分の感情をコントロールする力」「計画をたてて実行する力」などがあり、学ぶ土台がしっかりと出来上がっているため、状況の変化にも対応でき、予測不可能なこれからの未来でも生き抜く力が強いと言われています。



どの質問も「当てはまる」と答えた生徒は、全国や福岡県と比べると10%以上少ないですが、「やや当てはまる」と答えた生徒まで足すと「友だち関係に満足していますか」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」、「学校に行くのは楽しいですか」の質問については、全国や福岡県とだいたい同じ割合になります。しかし、「自分にはよいところがあると思いますか」、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の質問には「やや当てはまる」を足しても全国よりも5%~10%少なくなっています。また、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」の質問には、「よくある」と答えた生徒は全国より18%少なく、「ときどきある」を足しても8%少ない結果でした。

日常の学校生活の中でこれらの項目についての数値を上げていくのは、なかなか難しいことですが、来年度も主体性を育む場の設定を授業や生活の中で取り入れながら、少しずつ高めていきたいと考えています。